

令和2年度 学校経営の改革方針

学校名	津市立新町小学校	校長名	松 本 幸 也
児童・生徒数 475人	学級数 22学級	教職員数 38人	

1 めざす学校像

学校教育目標「かしこく 心豊かに たくましく生きる新町の子」

【めざす子どもの姿】

- **かしこく生きる**
「学んだことを人生や社会に生かす」
- **心豊かに生きる**
「まわりの人たちとともに考える」
- **たくましく生きる**
「どんな状況にも対応できる」

【めざす教師の姿】

- 子どもを愛する教師
- 自ら学び、仲間と学び合う教師
- 保護者、地域とつながる教師
- チームワークを大切にする教師
- ワークライフバランスを大切にする教師

2 現状と課題

本校の子どもたちは、優しく素直な子が多くいる一方で、生活環境及び家庭状況の厳しい児童も少なくなく、毎朝、複数の教員が連絡を取り合い、児童の出席確認をしている状況にある。また、特別に支援の必要な児童が各学級に一定数在籍しているため、担任及び管理職、特別支援コーディネーター、学校支援サポーター、スクールカウンセラー等が連携しながら、児童一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。全国学力・学習状況調査においては、高い水準で結果を出しているものの、学力差は大きく、個別指導も含めたきめ細かな指導を行っている。今後も、一人ひとりの実態をより深く見つけ、個に応じた適切な対応を続けていく必要がある。

3 重点目標と行動計画

(1) 確かな学力の定着

- ① 基礎学力の定着と学力の向上
 - ・ 少人数学級編制、ティームティーチング、習熟度別指導の実施
 - ・ 全国学力・学習状況調査やみえスタディチェック等を活用した指導方法の工夫改善
 - ・ 「家庭学習の手引き」を活用した自主学習、土日の家庭学習の充実
- ② 授業づくりの工夫
 - ・ 「ペア学習・グループ学習」を効果的に活用し、子ども同士が互いに学び合う授業の展開
 - ・ 学習課題や学習形態を工夫し、生活経験等を活かした課題解決型の授業の展開
 - ・ 各教科において、「話す力」「聴く力」を高めた伝え合う授業の展開
 - ・ 「わかった」「できた」が実感できる授業の展開
- ③ 読書活動の充実
 - ・ 読書・学習・情報センターとしての図書館の活用、図書館まつり等を通じた読書意欲の向上
 - ・ 図書館司書、図書館ボランティアと連携した活動の充実

(2) 豊かな人間性の育成

- ① 道徳教育、人権教育の充実
 - ・ 道徳教育の全体計画および各学年の年間指導計画の改善と道徳教育の推進
 - ・ 自他の人権を尊重し人権問題を解決する行動力を育てる人権教育の推進
 - ・ 多様な生き方を認め合い、仲間とともに高まり合う「なかまづくり」の推進
- ② 教育相談、特別支援教育の充実
 - ・ 報告・連絡・相談を徹底し、不登校、いじめ、虐待、発達上の課題等への迅速な対応
 - ・ 日常の観察や教育相談、いじめ調査による児童の状況把握と早期対応
 - ・ スクールカウンセラーや関係機関等と連携した迅速で組織的な取り組みの推進
- ③ 児童が主体的に取り組む活動の推進
 - ・ 児童会活動やあいさつや清掃活動、心地よい学校づくりに主体的に参画する生活態度の育成

(3) 健康な心と体の育成

- ① 健康・食教育の充実と体づくり活動の推進
 - ・ 「運動が楽しい」と思える体育の授業の推進、学校生活の中で運動の習慣化
 - ・ 養護教諭、栄養教諭、担任が連携した保健指導、食育の充実
- ② 安全教育、防災教育の充実
 - ・ 日常生活に生きる安全教育、防災教育の実施
 - ・ 月一度の安全点検の実施、危機を想定した日常的な安全管理、事故防止の推進

(4) 信頼される学校づくり

- ① 保護者・地域との連携・協働
 - ・ 学校だよりや学校HP、学年通信、学級通信等による家庭との連携の強化、信頼関係の構築
 - ・ 図書館ボランティアや学習支援ボランティア等を活用したきめ細かな教育活動の展開
 - ・ 地域内の各団体との交流や連携、情報発信、情報収集
- ② 継続的な学校改善
 - ・ 学校自己評価、学校関係者評価の実施、評価をふまえた学校改革の推進
 - ・ 小中一貫教育を通じた校種間の段差の解消
 - ・ 教職員育成支援のための人事評価制度等を活用した学校改革の推進

(5) 教職員の資質向上と健康管理

- ・ 教員相互に学び合い、授業公開による授業力の向上
- ・ ワークライフバランスを大切にした取組として毎週金曜日を定時退校日とし、80%の職員が達成できる取組
- ・ 一人当たりの月平均時間外労働を30時間以下とし、年360時間・月45時間を超える時間外労働者数を0人とする取組
- ・ 放課後に開催される会議は17時までには必ず終了する取組
- ・ 一人あたり休暇取得日数を前年度比2日多く取得

